

県議会における論議の状況
【総合政策建設委員会委員長報告】

資料 2

(令和 3 年第 2 回定例会)

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

令和 3 年 6 月：第 2 回検討委員会における協議結果について説明

- ・ 新たな総合体育館の整備について、需要予測調査の結果や第 2 回基本構想検討委員会での検討を踏まえて、求められる機能に関する質問があり、「新たな総合体育館の在り方に関して、検討委員会においては、スポーツ利用を軸とすることについて概ね委員間の共通認識が得られたところである。「する」スポーツに配慮する必要があるが、委員からは、「みる」機能を備えていれば、「する」機能も包含されるとの意見があり、その視点も踏まえながら検討したい」との答弁があった。
- ・ 「8千人規模だけでなく1万人、5千人規模と幅広にシミュレーションをするべきではないか」との意見に対し、「1万人、5千人についても想定し、検討委員会にお示ししたい」との答弁があった。
- ・ 新たな総合体育館をプロフィット化するための附帯施設整備や、施設の運営手法に関する質問があり、「県民の皆さんの負担を減らす形で、この体育館を造り、運営するにはどういう形がいいものかを基本構想策定後、具体的に検討する。通常は PFI や PPP などの形になる」との答弁があった。
- ・ 委員からは「収益を生まないであろうアマスポーツ大会の優先度と収益事業をどうするかで、指定管理に応募する企業も変わってくる。収益事業を優先し、本来やるべき県民の大会が開催できないことは問題であることから、そこは並行して考えていただきたい」との意見があった。